

だから

GAP

を選んでいきます



作る側も、食べる側も、  
その選択が未来を変えていきます

無料動画  
公開中

あなたのそばで取り組みは始まっています！

未来をつくるGAP ~農業と消費者をつなぐ~





《自然環境にとって負担の少ない商品を選びたい》

そう考える消費者が増えてきました。

自然環境に配慮し、働く人に配慮し、

適切に管理された認証農場で

農畜産物をつくり続けることが

消費者のためになり、次世代のためになり、地球のためになり、

やがて、それは生産者のためになります。

《GAP》は自然環境に対して私たちにもできること。

あなたのそばで取り組みは始まっています。



農業生産工程管理  
Good Agricultural Practices



持続可能な開発目標  
Sustainable Development Goals

GAP(ギャップ)とは生産者、消費者、環境にとって、「Good」な農業の取り組みのことで

GAPの取り組みは、食の安全や環境保全など、SDGsが目指すところと関わっています



食品安全

環境保全

労働安全

人権保護

農場経営  
管理

やればできる!



無料動画  
公開中



農薬を使ったら使用日、使用量などを記録する。

農具を使い終わったら元の位置へ戻す。

GAPの取り組みは決して難しいことばかりではありません。

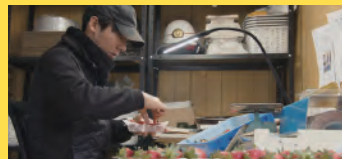
GAPに取り組むことによって、コスト削減や生産性の向上につながった事例もあります。

みなさんのそばでも、すでにGAPに取り組んでいる人がいます。

作業の合間にパソコンやスマホで動画をご覧ください。

未来をつくるGAP

～農業と消費者をつなぐ～



JAグループ福島 GAP



見てね!

SDGsの目標達成に向けてGAPによる農業経営が重要な役割を担っています。日々疎かになりがちなこともGAPという視点で見れば働きやすさにつながる。そう考える若手いちご農家さんにGAPへの取り組みや考えをうかがいました。

お問い合わせ先

福島県農業協同組合中央会 食農振興部食農振興課

〒960-0294 福島県福島市飯坂町平野字三枚長1-1 Tel:024-554-3072 Fax:024-552-2786 <https://www.ja-fc.or.jp>  
福島県内のGAP取得については、上記または、お近くの農業協同組合(JA)にご相談ください。